

## 「エリヤも落ち込んだ」

1列王記19章1-18節

1

アハブは、エリヤがしたすべての事と、預言者たちを剣で皆殺しにしたことを残らずイゼベルに告げた。すると、イゼベルは使者をエリヤのところに遣わして言った。「もしも私が、あすの今ごろまでに、あなたのいのちをあの人たちのひとりのいのちのようにしなかったなら、神々がこの私を幾重にも罰せられるように。」

彼は恐れて立ち、自分のいのちを救うため立ち去った。ユダのベエル・シェバに来たとき、若い者をそこに残し、自分は荒野へ一日の道のりを入れて行った。彼は、えにしだの木の陰にすわり、自分の死を願って言った。「【主】よ。もう十分です。私のいのちを取ってください。私は先祖たちにまさっていませんから。」彼がえにしだの木の下で横になって眠っていると、ひとりの御使いが彼にさわって、「起きて、食べなさい」と言った。彼は見た。すると、彼の頭のところに、焼け石で焼いたパン菓子一つと、水の入ったつぼがあった。彼はそれを食べ、そして飲んで、また横になった。1列王19:1-6

2

それから、【主】の使いがもう一度戻って来て、彼にさわり、「起きて、食べなさい。旅はまだ遠いからだ」と言った。そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、歩いて神の山ホレブに着いた。彼はそこにあるほら穴に入り、そこで一夜を過ごした。すると、彼への【主】のこぼれがあった。主は「エリヤよ。ここで何をしているのか」と仰せられた。エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に、熱心に仕えました。しかし、イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。」「【主】は仰せられた。「外に出て、山の上で【主】の前に立て。」すると、そのとき、【主】が通り過ぎられ、【主】の前で、激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に【主】はおられなかった。風のあとに地震が起こったが、地震の中にも【主】はおられなかった。地震のあとに火があったが、火の中にも【主】はおられなかった。火のあとに、かすかな細い声があった。1列王19:7-12

3

エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て、ほら穴の入口に立った。すると、声が聞こえてこう言った。「エリヤよ。ここで何をしているのか。」エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に、熱心に仕えました。しかし、イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。」「【主】は彼に仰せられた。「さあ、ダマスコの荒野へ帰って行け。そこに行き、ハザエルに油をそそいで、アラムの王とせよ。また、ニムシの子エフーに油をそそいで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラの出のシャファテの子エリシャに油をそそいで、あなたに代わる預言者とせよ。ハザエルの剣をのがれる者をエフーが殺し、エフーの剣をのがれる者をエリヤが殺す。しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。これらの者はみな、バアルにひざをかかめず、バアルに口づけしなかった者である。」1列王19:13-18

4

## 思うようにいかない人生

- 自分の思うような結果が出なかった
- 期待に裏切られて失望した
- 最悪最強の女性 **イゼベル** 王妃を恐れ逃げた
- しかし、あなた(テアテラ教会)には非難すべきことがある。あなたは、**イゼベルという女を** **なすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教** **えて誤りに導き、不品行を行わせ、偶像の神にささげた物を食べさせている。黙 2:20**
- 女性の力(良いほうにも、悪いほうにも)

5

## 思うようにいかない人生

- 自分の思うような結果が出なかった
- 新約でエリヤと呼ばれた預言者(マタイ17:10-13)
- **そのエリヤはヘロデヤという女性に殺された**(マルコ6:14-29)。イゼベルのような女性。
- エリヤは逃げて、死を求めた(神に)。
- 神のとの関係が命！
- エリヤ肉体的にも、心理的にも、霊的にもいやされる必要があった。

6

## 主が思うように生きる人生

- 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りによるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。箴言3:5-6
- 私たちは宇宙の法則によって生かされているのではない。
- あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。詩8:3-4

7

## 主が思うように生きる人生

- それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましいは、それをよく知っています。詩139:13-14
- あなたの若い日にあなたの創造者を覚えよ。伝道者12:1
- 自分の思い、考え、ビジョンよりも神の思い、考え、ビジョンを求める
- エリヤを苦しめていたのはエリヤ自身

8

## 神の思いやり

- 自殺ではなく、神に「命を取ってください」
- エリヤは眠った
- 天使が焼いてくれたパンと水を食べた
- また眠って、また食べた。(赤ちゃん、安息日)
- 以前にもカラスやシドンのやもめから。17章
- わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。主の良くてくださったことを何一つ忘れるな。詩103:2
- 数えてみよ主の恵み、つぶやきなんか消えるよ！聖歌604

9

ある晩ひとりの男が夢を見た。男は夢の中で主と一緒に砂浜を歩いていた。空には、彼の人生が映し出され、砂の上には人生の場面ごとにふたりの足跡が現れた。一つは彼自身の足跡、もう一つは主の足跡だった。男は、空に描かれた自分の人生の情景を見終わり、振り返って砂の上の足跡に目を向けた。すると、ひとりの足跡しかない場所がたくさんあるのに気がついた。それらの場所は、彼の人生で最もつらく、悲しい時だった。男はそのことが気に入り、主に尋ねた。「主よ、あなたは、私があなたに従って生きることを決心したなら、最後まで私と共にいて下さると約束されました。それなのに、私の人生で最もつらかった場所にひとりの足跡しかないのはなぜですか。私があなを最も必要としたときに、どうして私をひとりにされたのですか。」主はお答になった。「わたしの愛する子よ。わたしはあなたを愛しています。決してあなたから離れることはありません。あなたの人生で最もつらかった時で、ひとりの足跡しかない場所は、わたしがあなたを抱えて歩いたところです。」 M. パワーズ (あしあと)

10

## 神の声(ことば)に従え

- イゼベルやアハブの声、人々の声、世の中の大きな様々な出来事よりも、神の声に、神から目を離すな。
- エリヤの勘違い、間違った思い込み、ビジョンも正された。
- お前だけではない。お前のように私に仕えているしもべたちは大勢いる。
- 仕事の結果が分からなくても、お前に与えられた仕事を最後まで忠実に果たせ。「結果がすべて」ではない。わたしがすべてだ。1コリント3:6
- エリヤはちょっと結果がすべて、自分がすべてと思っちゃった？ エリヤを苦しめていたのはエリヤ

11

## 神の声(ことば)に従え

- 大風、地震、火よりも、わたしの声を通してわたしを知り、わたしの声(ことば)に従いなさい
- 神のしもべの成功、神に仕え、主のみここを行うこと。その結果を見ることではない。
- モーセもダビデも、自分たちの奉仕の結果を見ることができなかった。
- 自分たちで、自分たちを苦しめ(合)わないように気をつけましょう！ 神の声(ことば)に聞きましょう

12

## エリヤも落ち込んだ

- エリヤも落ち込んだ
- 死を求めるほど落ち込んだ
- 自分の原点に戻った。
- **自分の原点は自分ではなく自分の創造者**
- **自分の声よりも、人の声よりも、神の声に聞く**
- 自分たちの思い、考え、ビジョンには限りがある。**思い込みに注意。**
- **エリヤを引き上げてくださったように、主は私たちのことも引き上げ、支え、導いてくださる。**